

日本介護福祉士会生産性向上中核人材育成プログラム

デジタル・テクノロジー基本研修  
プログラム概要・募集要項

2023（令和5）年度モデル研修版【11/15更新】



2023（令和5）年10月

- 本モデル研修は、厚生労働省令和5年度老人保健健康増進等事業（老人保健事業推進費等補助券）に採択された、「介護現場の生産性向上を促進するための中核人材のスキル強化と習得プログラムに関する調査研究」による事業です。
- モデル研修受講にあたっては、受講者と勤務先（施設・事業所）を対象とする調査にご協力いただくことを、あらかじめご承知おきください。

### 【研修のお申込み】

公益社団法人日本介護福祉士会ホームページ

「デジタル・テクノロジー基本研修の開催について」

<https://www.jaccw.or.jp/>

- ※ 日本介護福祉士会の会員ではない方は、研修管理システム『ケアウェル』の登録が必要です（登録料は発生しません）。
- ※ 日本介護福祉士会会員は、研修管理システム「ケアウェル」でお申込みできます。  
『ケアウェル』にまだ登録していない方は、次の流れで登録手続きを行ってください。  
「会員様向け情報：個人サイトのご案内」  
<https://www.jaccw.or.jp/members/kojin>  
→個人サイト『ケアウェル』をクリック→「日介 ID/パスワードを忘れてしまった方はこちら」をクリックし、IDとパスワードのご登録

### 【お問合せ】

公益社団法人日本介護福祉士会事務局

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-1-13 小野水道橋ビル 5階

- ※ 研修の申込み手続きや『ケアウェル』登録についてのお問い合わせ  
TEL 03-5615-9295（平日 10:00～17:00 ※土日祝日を除く）
- ※ 受講申込をした方のお問い合わせ  
E-mail [seisansei@jaccw.or.jp](mailto:seisansei@jaccw.or.jp)（「デジタル基本研修担当」宛）

## もくじ

<b>1. 本研修のねらい</b> .....	<b>3</b>
(1) 介護現場における生産性向上のとらえ方 .....	4
(2) 生産性向上中核人材育成プログラムの全体像 .....	4
(3) デジタル・テクノロジー中核人材に期待すること .....	4
<b>2. 本研修の枠組み</b> .....	<b>5</b>
(1) 目的 .....	5
(2) 対象 .....	5
(3) 費用 .....	5
(4) カリキュラムの構成と研修方法 .....	5
<b>3. オンデマンド動画の概要</b> .....	<b>6</b>
(1) 視聴方法と読替（受講免除） .....	6
(2) 導入動画と視聴前の自主学習 .....	6
(3) 視聴後の課題（必須） .....	6
<b>4. 集合研修の概要</b> .....	<b>7</b>
(1) 集合研修のタイプー対象と方法ー .....	7
(2) 科目の構成と研修の流れ .....	8
(3) 研修日程 .....	9
(4) 受講方法と読替（受講免除） .....	10
(5) 自職場での取り組み課題（必須） .....	10
<b>5. 外部プログラムの活用</b> .....	<b>11</b>
<b>6. 研修シラバス</b> .....	<b>12</b>
(1) 受講の準備（必須） .....	12
導入課題	「介護現場の生産性向上」 12
(2) オンデマンド動画（必須） .....	13
介護過程の実践力	「介護過程の応用的理解」 13
	「科学的介護の基礎的理解」 14
	「介護職の倫理と利用者の全人性・尊厳の実践的理解」 15
チームをまとめる力	「チームがまとまり成果を生み出す考え方と方法」 16
生産性を向上させる力	「介護現場の問題発見と解決スキル」 17
	「介護ロボット・ICTの基礎的理解」 18
事前課題（集合研修開始までに取り組む課題）	「介護現場の生産性向上についての基本的な理解」 19
(3) 集合研修（必須） .....	20
生産性を向上させる力	「介護現場の業務改善（演習）」 20
	「介護ロボット・ICTの導入（演習）」 21
	「利用者支援に向けた活用（演習）」 22
自職場での取り組み課題（集合研修のなかで取り組む課題）	
	「課題① 業務分析」 23
	「課題② 介護ロボット・ICT導入計画の作成」 23

# 1. 本研修のねらい

**介護サービスの生産性向上 = 介護の価値を高めること**

## (1) 介護現場における生産性向上のとらえ方

- 『居宅サービス分 介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン 改定版』（厚生労働省）では、介護サービスの生産性向上を「介護の価値を高めること」と定義しています。
- さらに、生産性向上に取り組む意義を、「人材育成」「チームケアの質の向上」「情報共有の効率化」とし、介護サービスの質の向上と人材定着・確保をめざす、としています。



出典：『居宅サービス分 介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン 改訂版 介護の価値向上につながる職場の作り方』厚生労働省老健局

- 介護現場における生産性向上とは、テクノロジーの活用等で業務改善や効率化等を進めることにより、職員の業務負担の軽減を図るとともに、業務改善や効率化で生み出した時間をケア業務に充て、利用者と職員が接する時間を増やすなど介護サービスの質の向上につなげることです。
- 生産性向上中核人材育成プログラム検討部会では、本研修プログラムを開発するにあたり、国が推進する介護分野の生産性向上の考え方をふまえて、「介護サービスにおける生産性向上」を次のように整理しました。
- 介護サービスの質の向上をめざすためには人材の定着・確保とモチベーションの向上が必要であり、いずれも相互に関連しています。これらの目的を達成するためには次の5項目が必要です。

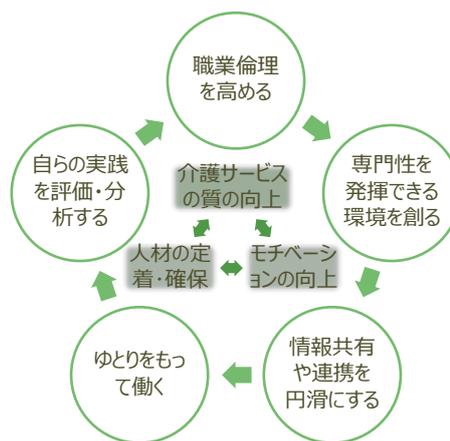
### 介護サービスの質の向上を達成するために必要なこと

- ✓ **職業倫理を高める** 倫理観や職業道徳を強化するための教育機会を確保する
- ✓ **専門性を発揮できる環境を創る** 専門知識やスキルを最大限に活かせる環境を整備する
- ✓ **情報共有や連携を円滑にする** 情報共有や他職種との連携を円滑にする仕組みを整備する
- ✓ **ゆとりをもって働く** 労働環境の改善や業務の効率化を行い、業務の負担軽減を図る
- ✓ **自らの実践を評価・分析する** 自分自身や職場の実践を客観的に評価し、分析する

### 本部会が考える介護サービスにおける生産性向上

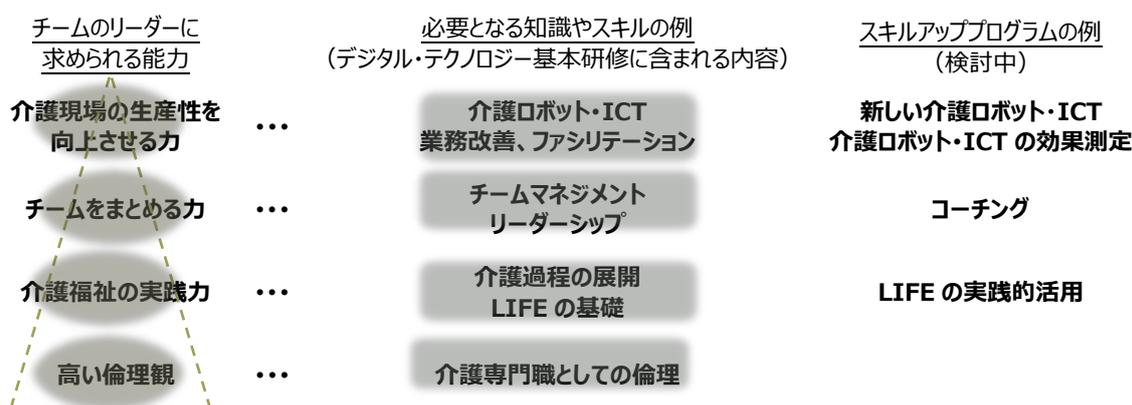
- 要介護者の増加やニーズが、より多様化していくなかで、業務を見直し、限られた資源を用いて一人でも多くの利用者に質の高いケアを届けること。
- 改善で生まれた時間を有効活用し、利用者に向き合う時間を増やしたり、自分たちで質をどう高めるか考えていくこと。
- 均質性のとれたケアを持続するために、職員が自ら考え提案することができる、専門職としての資質の向上と、ゆとりのある職場環境の維持に努めること。

- 介護サービスの質向上を達成するためには、これらの5つの項目の循環が必要です。これらの要素が相互に連携し、絶え間ない改善サイクルをつくり出すことで、介護サービスの質は向上すると考えます。



## (2) 生産性向上中核人材育成プログラムの全体像

- 生産性向上中核人材育成プログラムでは、介護ロボット・ICTの導入自体が目的化しないように、業務改善と介護ロボット・ICT導入・活用を推進できる中核人材の育成をめざしています。
- 基本研修では、自職場での業務改善と介護ロボット・ICT導入の取り組みに着手できることを目標として設定し、より高度または特定業務において必要となるスキルは、スキルアッププログラムで段階的に習得していきます。



## (3) デジタル・テクノロジー中核人材に期待すること

- 本研修やスキルアッププログラムの育成方針（介護現場の中で、どのような人材として活躍して欲しいか）は、次のとおりです。

育成方針	具体例
業務改善意識を醸成するための組織づくりを行い、生産性向上の方策として介護ロボット・ICTの活用を提案できる。	プロジェクトチーム立ち上げ 活用する機器の選定・提案
職場の業務分析から介護ロボット・ICT導入・運用までの過程において、チームが効率的に取り組めるよう、プロジェクトの目標設定や進捗管理を行うことができる。	実行計画の策定
介護ロボット・ICT導入・運用を効率的・効果的に行うために必要な情報を収集し、チームとの共有や職員に対する支援・指導を行うことができる。	機器導入講習会の開催 マニュアル作り
介護ロボット・ICT導入・運用による、利用者個別の支援の持続的な見直しを行うことができる。	個別介護計画への反映
客観的・定量的なデータにもとづき、支援の評価・分析を行うことができる。	LIFEフィードバックデータの活用

## 2. 本研修の枠組み

### (1) 目的

- ・ 介護現場における生産性向上の方策のひとつとして、テクノロジーを効果的に活用し、より質の高いケアを実践できる介護職員を育成します。
- ・ 利用者の自立支援につながる個別性の高いケアを実現するために、介護現場や組織全体がチームとなって業務改善に取り組むためのリーダーシップと、介護ロボットやICTを最大限に活用することができるアセスメント力をはじめとする、科学的介護の実践力の涵養をめざします。

### (2) 対象

- ・ 介護現場での実務経験が3年以上あり、かつ、次の①②いずれかに該当する方を対象とします。
- ・ 本研修のカリキュラムは、研修の目的から介護福祉士を想定し構成していますが、当会の生産性向上のとらえ方をご理解いただける方であれば、他の資格・職種の方もご参加いただくことは可能です。ただし、定員を設けている集合研修では、介護職員を優先する場合があります。
  - ① 介護福祉士資格取得後、2年以上の実務経験がある方
  - ② 自職場で、業務改善や介護ロボット・ICT導入について担当している方（取り組みたいと考えている方）
- ・ タイプA-2、B-2は、「介護業務に携わる介護福祉士等の専門職と管理者等とのペアでの受講を推奨」しています（7ページ参照）。管理者等とは、施設長や部課長など、施設・事業所等のなかで介護ロボット・ICTを推進する立場の方を指します。

### (3) 費用

無料 ※2023年度はモデル研修として無料で実施します。

### (4) カリキュラムの構成と研修方法

- ・ 本研修の学習内容は、介護福祉専門職としての倫理観を基盤に「介護福祉の実践力」、「チームをまとめる力」、「介護現場の生産性を向上させる力」の3領域で構成されています。
- ・ 効率的に学習を進められるよう、各科目の内容は、介護現場における生産性向上の取り組みを持続するために必要となる知識や技術に焦点をあて、取り上げる項目を絞り込んでいます。

領域	科目	時間	方法	総時間
介護福祉の実践力	介護過程の応用的理解	70分	オンデマンド動画	7時間
	科学的介護の基礎的理解	90分		
	介護職の倫理と利用者の全人性・尊厳の実践的理解	70分		
チームをまとめる力	チームがまとまり成果を生み出す考え方と方法	80分		
介護現場の生産性を向上させる力	介護現場の問題発見と解決スキル	70分	集合研修	9時間
	介護ロボット・ICT活用の基礎的理解	40分		
	介護現場の業務改善（演習）	180分		
	介護ロボット・ICTの導入（演習）	180分		
	利用者支援に向けた活用（演習）	180分		

※ 本研修を効果的に受講いただくために、上記科目の他、介護ロボット・ICTに関する外部のプログラム（研修、資格、セミナー等）を受講することを強く推奨します（11ページ参照）。

### 3. オンデマンド動画の概要

#### (1) 視聴方法と読替（受講免除）

- ・ オンデマンド動画は6科目です。科目の概要は、13～18ページのシラバスでご確認ください。ご自身で計画的に視聴し、学習してください。
- ・ 受講申込をした集合研修が開始するまで（初回面接授業の前日まで）に、必ず、受講を終えてください。
- ・ オンデマンド動画は、受講申込を行った日本介護福祉士会の研修管理システム『ケアウェル』をとおして視聴します。



- ・ 日本介護福祉士会ファーストステップ研修を修了した方（今年度中に修了見込みの方も含む）は、一部、科目の受講免除（読替）ができます。

科目	修了した研修
介護職の倫理と利用者の全人性・尊厳の実践的理解 チームがまとまり成果を生み出す考え方と方法	介護福祉士ファーストステップ研修

#### (2) 導入動画と視聴前の自主学習

- ・ 研修の受講申込をする前に、必ず、導入動画「介護現場の生産性向上」（12ページ参照）を視聴してください。介護現場の生産性向上に関する国の取り組みや基本的な考え方を確認することで、本研修を効果的に受講することができます。受講する研修タイプ（7ページ参照）の選定にも役立ててください。
- ・ また、介護現場の生産性向上や介護ロボット・ICTに関する情報の多くは、Web上に公開されています。本研修で開講する科目も、厚生労働省等が公開しているガイドラインや動画、報告書等を教材として活用しています。
- ・ 授業で活用するこれらの情報は、シラバスに掲載しています（13～18ページ参照）。オンデマンド動画がアップされる前や集合研修を受講するまでに時間がある場合は、自主学習としてこれらの情報にアクセスし、目を通しておくことをおすすめします。

#### (3) 視聴後の課題（必須）

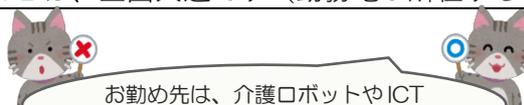
- ・ オンデマンド動画として開講される6科目を視聴した後に、事前課題（19ページ参照）を研修管理システム『ケアウェル』へ提出してください。
- ・ オンデマンド動画の視聴と事前課題の提出は、集合研修の受講要件です。受講の申し込みをした面接授業が始まるまでに完了できるよう、計画的に行ってください。

## 4. 集合研修の概要

### (1) 集合研修のタイプー対象と方法ー

- 2023年度は、集合研修を4つのタイプで行います。集合研修は、受講者全員が集まる面接授業と、各受講者が自職場で取り組む課題で構成されています。
- 授業は主にオンライン（Zoom）で開催します。各自、自宅や自職場等からご参加ください。
- 受講者の自職場の状況（介護ロボット・ICT導入状況、業務改善取り組み等）によって、面接授業の日数が2日または3日に分かれます。面接授業の時間数（540分：90分授業6コマ）や内容はすべて同じです。自職場の状況に応じて、取り組み課題が異なります。
- タイプA-1とA-2は、全国共通です（勤務地が所在する都道府県等の区別なく申込可能）。

#### 【研修のタイプと概要】



	【対象1】 お勤め先は、介護ロボットやICT導入の検討や活用を始めてる？	【対象2】 お勤め先は、介護ロボットやICT導入の検討や活用を始めてる？
【方法A】 すべて オンライン	<b>タイプA-1</b> ◆面接授業の日数 3日（修了まで約10週間） ◆自職場での取り組み課題 ・課題① 業務分析 ・課題② 介護ロボット・ICT導入計画の作成 ◆その他 ・フォローアップ研修あり	<b>タイプA-2</b> ◆面接授業の日数 2日（修了まで約5週間） ◆自職場での取り組み課題 ・課題② 介護ロボット・ICT導入計画の作成 ◆その他 ・ <u>介護業務に携わる介護福祉士等の専門職と管理者とのペアでの受講を推奨</u> ・課題①を研修前に提出した場合、「介護現場の業務改善（演習）」受講を免除
【方法B】 対面（現地開催） + オンライン	<b>タイプB-1</b> ◆面接授業の日数 3日（修了まで約10週間、1日目対面） ◆自職場での取り組み課題 ・課題① 業務分析 ・課題② 介護ロボット・ICT導入計画の作成 ◆その他 ・フォローアップ研修あり	<b>タイプB-2</b> ◆面接授業の日数 2日（修了まで約5週間、2日目対面） ◆自職場での取り組み課題 ・課題② 介護ロボット・ICT導入計画の作成 ◆その他 ・ <u>介護業務に携わる介護福祉士等の専門職と管理者とのペアでの受講を推奨</u> ・課題①を研修前に提出した場合、「介護現場の業務改善（演習）」受講を免除

※ タイプA-2、B-2のペアでの受講を推奨している「管理者等」とは、施設長や部課長など、施設・事業所等のなかで介護ロボット・ICTを推進する立場の方を指します。ペアで受講する場合も、各自受講登録を行ってください。

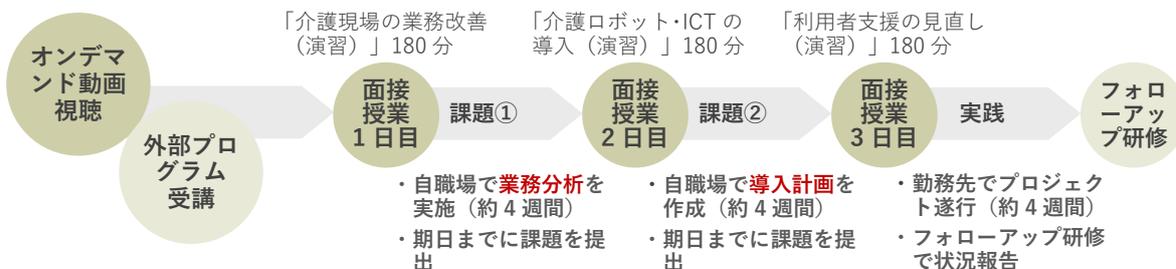
- タイプB-1とB-2は、次の県で開催します。開催県に所在する施設・事業所に勤務している方が対象です（会場は11月中に発表予定）。

タイプ	開催県	開催日程	定員
B-1	大阪府	23/12/7 木（対面） 24/1/25 木 2/29 木	100名
	北海道	23/12/13 水（対面） 24/1/31 水 3/6 水	100名
B-2	富山県	24/1/9 火 2/13 火（対面）	100名
	福岡県	24/1/29 月 3/4 月（対面）	100名

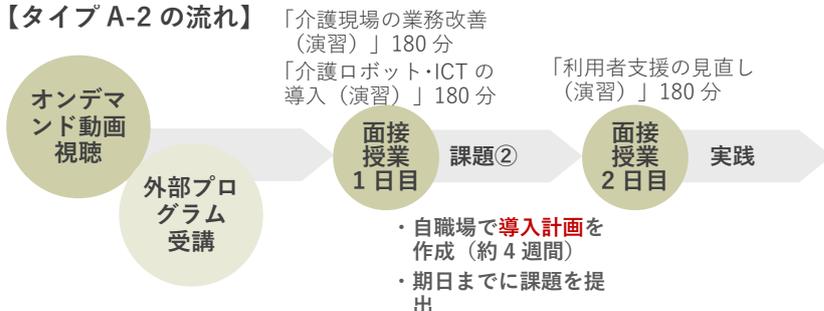
## (2) 科目の構成と研修の流れ

- ・ 面接授業は3科目（演習中心）です。科目の概要は、20～23ページのシラバスでご確認ください。
- ・ タイプA-2及びB-2の集合研修については、課題①を集合研修開始前に提出した場合、「介護現場の業務改善（演習）」受講が免除されます。

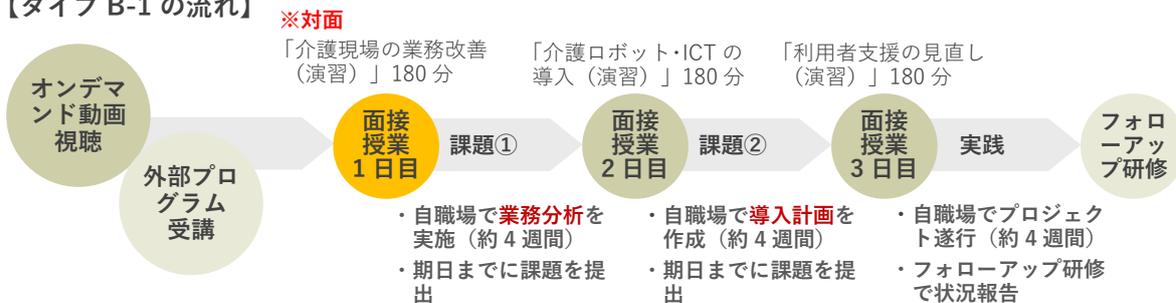
### 【タイプA-1の流れ】



### 【タイプA-2の流れ】

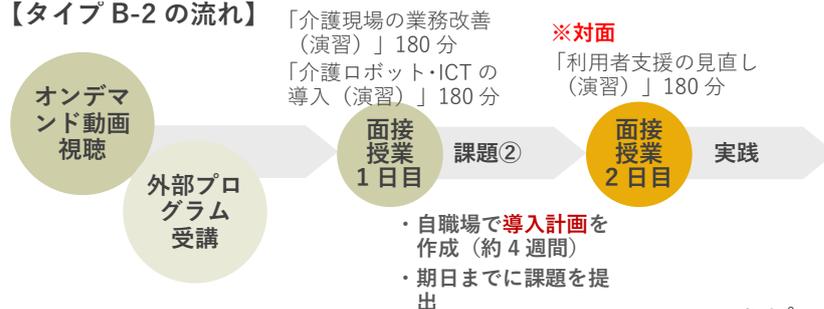


### 【タイプB-1の流れ】



※ タイプB-1 開催県は、大阪府と北海道です。

### 【タイプB-2の流れ】



※ タイプB-2 開催県は、富山県と福岡県です。

**(3) 研修日程**

- ・ 研修タイプごとに、実施回数や方法が異なります。業務改善や介護ロボット・ICT 導入に関する自職場の状況も考慮しながら、研修タイプを選択してください。
- ・ いずれの研修タイプも、自職場で取り組む課題（要提出、23 ページ参照）があります。課題は受講者自身が中心となり自職場で生産性向上に関する取り組みを行うものです。
- ・ 受講申込は、コース単位で行ってください。原則として、複数のコースを受講することはできません。

**【集合研修の日程】**

タイプ	コース	日数	面接授業の実施日	時間	開催場所	申込〆切	定員
A-1	No.1	3日	23/11/28 火	9:00~12:10	オンライン	11/24 金	350名
			24/ 1/16 火	9:00~12:10			
			24/ 2/16 金	9:00~12:10			
	No.2	3日	23/12/ 5 火	9:00~12:10	オンライン	12/ 1 金	350名
			24/ 1/23 火	9:00~12:10			
			24/ 2/27 火	9:00~12:10			
	No.3	3日	23/12/11 月	13:00~16:10	オンライン	12/ 7 木	350名
			24/ 1/26 金	9:00~12:10			
			24/ 3/ 1 金	9:00~12:10			
A-2	No.4	2日	23/11/30 木	9:00~16:10	オンライン	11/26 日	250名
			24/ 1/18 木	9:00~12:10			
	No.5	2日	23/12/16 土	9:00~16:10	オンライン	12/12 火	250名
			24/ 2/ 2 金	9:00~12:10			
	No.6	2日	23/12/18 月	9:00~16:10	オンライン	12/14 金	250名
			24/ 2/ 5 月	9:00~12:10			
B-1	No.7	3日	23/12/ 7 木	13:00~16:10	現地（大阪府）	12/ 1 金	100名
			24/ 1/25 木	9:00~12:10	オンライン		
			24/ 2/29 木	9:00~12:10			
	No.8	3日	23/12/13 水	13:00~16:10	現地（北海道）	12/ 7 木	100名
			24/ 1/31 水	13:00~16:10	オンライン		
			24/ 3/ 6 水	9:00~12:10			
B-2	No.9	2日	24/ 1/ 9 火	9:00~16:10	オンライン	12/28 木	100名
			24/ 2/13 火	13:00~16:10	現地（富山県）		
	No.10	2日	24/ 1/29 月	9:00~16:10	オンライン	1/19 金	100名
			24/ 3/ 4 月	13:00~16:10	現地（福岡県）		

【現地開催の会場】 No.7 12/7 木 大阪マーチャンダイズ・マートビル（大阪 OMM ビル）  
 No.8 12/13 水 TKP 札幌駅前カンファレンスセンター  
 No.9 2/16 火 富山県民会館  
 No.10 3/4 月 TKP 博多駅前シティセンター

#### (4) 受講方法と読替（受講免除）

- ・ オンラインで行う面接授業は、オンライン会議システム（Zoom）を使用します。ZoomのURLは、研修管理システム『ケアウェル』でお知らせします。
- ・ 対面で行う面接授業は、開催県（今年度は、大阪府、北海道、富山県、福岡県）の1会場で実施します。開催県に所在する介護サービス施設・事業所に勤務している方が対象です。
- ・ 面接授業は演習中心です。グループワークで課題に取り組む内容が多く含まれますので、原則として、欠席・遅刻・早退を認めません。一部の授業を他のコースへ振り替えることもできません。すべての実施日に出席できるように、計画的に取り組んでください。
- ・ タイプA-2、B-2に限り、自施設での取り組み課題「課題① 業務分析」（23ページ参照）を各期日までに提出した場合、「介護現場の業務改善（演習）」の受講が免除（読替）されます。  
※ 提出された課題の内容によって、受講免除を取り消す場合があります。

タイプ	コース	日数	面接授業の実施日	受講免除後の授業時間	開催場所	課題①事前提出〆切
A-2	No.4	2日	23/11/30 木	13:00～16:10	オンライン	11/26日
			24/ 1/18 木	9:00～12:10		
	No.5	2日	23/12/16 土	13:00～16:10	オンライン	12/11月
			24/ 2/ 2 金	9:00～12:10		
No.6	2日	23/12/18 月	13:00～16:10	オンライン	12/13水	
		24/ 2/ 5 月	9:00～12:10			
B-2	No.9	2日	24/ 1/ 9 火	13:00～16:10	オンライン	12/14木
			24/ 2/13 火	13:00～16:10	現地（富山県）	
	No.10	2日	24/ 1/29 月	13:00～16:10	オンライン	12/25月
			24/ 3/ 4 月	13:00～16:10	現地（福岡県）	

※「課題① 業務分析」提出で、9:00～10:30、10:40～12:10に開催予定の「介護現場の業務改善（演習）」が免除されます。

#### (5) 自職場での取り組み課題（必須）

- ・ 面接授業のなかで行う演習は、次の面接授業までの期間に、受講者自身のご自身の勤務先でリーダーとなって実施していただく内容です。
- ・ 授業の中で他の受講者とグループワークをとおして学んだプロセスや方法にもとづき、指定された課題（23ページ参照）に取り組んでいただきます。その結果を、研修管理システム『ケアウェル』へ提出してください。
- ・ 課題の内容は、課題①、②ともに、受講者が勤務している介護サービス施設や事業所において、実際に業務改善や介護ロボット・ICTの導入に取り組んでいただくものです。

## 5. 外部プログラムの活用

- ・ 本研修を効果的に受講いただくために、介護ロボット・ICTに関する外部のプログラム（研修、セミナー、資格等）を受講することを強く推奨します。
- ・ 厚生労働省「介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業」の一環で行われているプログラムや、自治体が行っている介護ロボット・ICTの導入支援事業など、介護ロボット・ICTの基本的な知識や介護現場での導入・活用方法について学ぶ様々な機会があります。ご自身が参加できるプログラムについて、積極的に情報収集してください。

### 【研修・セミナーの例】

介護現場の生産性向上に向けた  
介護ロボットの開発・実証・普及の  
プラットフォーム

施設の方  
向け

相談窓口相談

開発企業  
向け

リビングラボに相談

相談窓口相談

事業概要

施設の方はこちら

開発企業の方はこちら

ニーズ・シーズマッチング支援

トップ > 施設の方はこちら > 研修会について

### 研修会について

介護ロボットプラットフォーム事業では、今年度研修を計画している相談窓口が複数ござ

#### 直近で開催される申し込み可能なセミナー

開催形態	日時	セミナー名	相談窓口名
オンライン	2023年8月8日（火）	介護現場の可能性を引き出すテクノロジー導入の実践	
対面/オンライン	2023年9月13日（水） 13:00～15:30 2024年1月22日（月） 13:00～15:30	生産性向上のための介護ロボット活用セミナー	

（福）北海道社会福祉協議会 北海道介護ロ

おかげさまで2022年11月8日（火）、12月6日（火）、12月14日（水）の研  
ご来場いただいた皆様、誠にありがとうございました。

### 介護ロボット地域フォーラム 静岡会場 出展企業募集

開催日 2023年12月12日(火) 介護ロボット展示 11:00～16:00  
シンポジウム 13:00～15:00(予定)

会場 グランシップ 10階 (展示会場:1001,シンポジウム:1002)  
静岡県コンベンションアーツセンター  
静岡県静岡市駿河区東静岡二丁目3番1号

出町2番地の1 田中産商第一生命共同ビル2階

**無料** 千葉市 介護ロボット フェア

出展者を募集します!

「介護ロボットの導入方法がわからない」  
「どのようなロボットがあるのか実際に見てみたい」  
「導入にあたって、効果を知りたい」  
といった介護事業者の疑問や要望に応えるため、講演や展示を通じて、  
介護ロボットの利便性等を周知するイベントです。

**2023.11.15 水**

セミナー 10:00～11:50  
展示 11:00～15:00

(会場) オークラ千葉ホテル  
(千葉市中央区千葉港1-13-3)

定員 20社程度 (来場予定者数30名)

対象 介護ロボット等を自社で開発もしくは販売又はその  
両方を行っている業者

応募方法 HPにて応募要項をご確認のうえ、郵送、持参又は電  
子メールにより参加申込書等をご提出ください。

### 【資格の例】

主催	資格	問合せ先等
株式会社善光総合研究所	「スマート介護士資格試験」(Basic/E xpert) <a href="https://smartcaregiver-online.studio.site/">https://smartcaregiver-online.studio.site/</a>	スマート介護士資格運営事務局 E-mail : exam1@test-event.co.jp Tel : 050-8882-8677
福岡県北九州市保健福祉局先進的介護システム推進室	「介護ロボットマスター育成講習」(入門編/実践編/管理編) <a href="https://www.city.kitakyushu.lg.jp/ho-huku/31600087.html">https://www.city.kitakyushu.lg.jp/ho-huku/31600087.html</a>	北九州市介護ロボット等導入支援・普及促進センター(事務局:麻生教育サービス株式会社) Tel : 093-522-5811